

第 20 期第 2 四半期業績のご報告 (平成 27 年 7 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

平成 28 年 3 月 吉日
日本システムバンク株式会社
代表取締役社長 野坂 信嘉

当中間期におけるわが国経済は、政府主導の経済・金融政策を背景に雇用環境や企業収益が改善する等、穏やかな回復基調が続きました。しかしながら、不安定な国際情勢や中国経済の更なる減速、資源価格の低迷による新興国の景気後退など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

駐車場業界におきましては、ガソリン価格の下落に伴う道路交通量の増加及び個人消費の持ち直しを背景に、駐車場の利用は増加傾向にあります。

このような環境のもと、CPシステム運営事業においては、積極的な営業活動を行い、新規駐車場の開発を進めました。既存駐車場においては、駐車場の需給バランスを考慮した料金設定の最適化を継続的に実施して収益力の向上に努めて参りました。その結果、CPシステム運営事業では、売上高 1,402,023 千円(前年同期比 106%)となりました。CPシステム販売事業においては、運営会社様の駐車場の開発計画が堅調に推移したこと及びにコンサルティング営業の推進した結果、売上高 1,391,931 千円(前年同期比 101%)となりました。

プロパティマネジメント事業は、「満室経営」を目指し、稼働率の向上に注力致しました。その結果、売上高 118,093 千円(前年同期比 95%)となりました。

以上の結果、当中間期における売上高は 2,917,179 千円(前年同期比 103%)となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

事業区別	金額	前年同期比
CPシステム運営事業	1,402,023 千円	106%
CPシステム販売管理事業	1,391,931 千円	101%
プロパティマネジメント事業	118,093 千円	95%
その他	5,130 千円	513%
計	2,917,179 千円	103%